

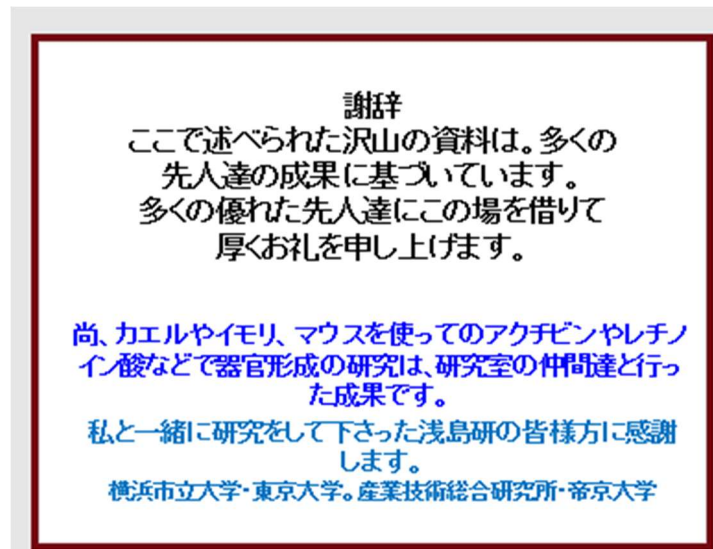
## 第 8 期（2024 年度）市民のための基礎科学講座 『動物の卵はどのようにして親になるか』

大隅基礎科学創成財団は 2024 年 8 月 24 日(土)午後 3 時から、「市民のための基礎科学講座」をオンラインにて開催しました。全国から 260 人を超える参加登録があり、発生生物学の世界的権威、浅島誠先生の講演に聞き入りました。オンラインではありましたが盛会のうちに終えることができ、質疑応答を含め午後 4 時半すぎに終了しました。

講演内容は以下の YouTube チャンネルからご覧いただけます。（浅島先生の講演部分は 3 分後から始まります）

浅島誠氏ご講演動画：<https://youtu.be/WTHcstRbevQ>

また、講演後、浅島氏より「最後のスライドで謝辞を述べるのを失念していたので、是非レポートにて伝えていただきたい」とご依頼がございましたので、以下に掲載させていただきます。



### ■ 講演要旨 ■

一個の細胞である丸い受精卵がどのように発生しながら一定の形を持った親になるのだろうか。100 年余り前までは、卵や精子の中に既に形ができていて、それが大きくなるだけだと多くの研究者は考えていた。ところが 100 年前に、動物の発生では「形作りのセンター」ができてそこから次第に誘導作用が起り徐々に形ができてくることが解った。その仕組みについて最近の知見も入れて述べる。

### ■ 浅島誠氏のご略歴 ■

1972 年 東京大学理学系大学院博士課程修了(理学博士)、1972 年ドイツ・ベルリン自由大学分子生物学研究所研究員、横浜市立大学文理学部助教授、横浜市立大学文理学部教授、東京大学教養学部教授、東京大学総長補佐、東京大学大学院総合文化研究科教授、東京大学大学院総合文化研究科評議員(併任)、東京大学大学院総合文化研究科長・教養学部長、日本学術会議副会長、東京大学生命科学教育支援ネットワーク長、東京大学 副学長・理事 兼 特任教授、(独)産業技術総合研究所フェロー兼 幹細胞工学研究センター長、東京大学大学院総合文化研究科特任教授兼 総長室顧問、科学技術振興機構 研究開発戦略センター・上席フェロー、(独)日本学術振興会・理事、東京理科大学副学長、帝京大学学術顧問・特任教授を経て、現職に至る。



【主なご受賞等】2001 年:恩賜賞、日本学士院賞、紫綬褒章、2008 年:エルヴィン・シュタイン賞(ドイツ 財団)、文化功労者、2017 年:リトアニア共和国大統領勲章、瑞宝重光章

以上